

ひらつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM VOL 7 NO 8 1982.11.1 平塚市博物館 TNO 79

教育普及活動の紹介 ⑨

紙すき

10月24日(日)に、体験学習会「紙すき」が行われました。講師に、埼玉県製紙工業試験場の指導課長・金子幸五郎氏と小高和三氏をお迎えし、34名の参加者が熱心に和紙づくりにいどみました。

和紙は、もともとコウゾ、ミツマタ、ガンビなどを原料とし、苛性ソーダ或は石灰を加えてしゃぶつし、更につき碎いて軟塊としたものを、「ところあおい」を加えてすいて作るものですが、当日は、あらかじめ講師の先生方が用意されたものをもとに、和紙づくりの手順に従って指導が行われました。

以下は、当日参加された方の感想文です。

和紙のちぎり絵、抒情押絵、和紙木目込み人形と、和紙の魅力に取りつかれていたので、そのものになる手すき和紙の体験学習があるというので、早速申し込みました。

遠方から来られたという先生方の行き届いた御指導で、楽しみながら見事に出来上りました。はがき大の和紙をすぐ「すだれ」をもうひとつ用意していただけたら、前の人人がすだれから和紙をはがしている間に次の人がすき始められ、もっと早く出来たのにと思われました。

障害者の方が数名参加されており、感激しました。そのお母さん達の明るさ、そしていろいろ体験させてあげたいという態度に心が打たれました。

外への出口が、レンガでふさがれ、車椅子で通れないでの、いつ災害が起こるかわからない時だけに改善して欲しいと思いました。(中略)

またの機会にも出席したい程、楽しい有意義な一日でした。

(市内豊原町 萩原米子)



11月の行事

1	月	(休館日)
2	火	
3	水	(文化の日・休館日)
4	木	
5	金	
6	土	プラネタリウム、古文書講読会
7	日	プラネタリウム
8	月	(休館日)
9	火	
10	水	
11	木	デッサン教室
12	金	デッサン教室
13	土	プラネタリウム、石仏を調べる会、 土曜観察会「高麗山・湘南平の自然」
14	日	プラネタリウム 自然観察会「秋の自然を訪ねて」
15	月	(休館日)
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	星を見る会「秋の星雲・星団」
20	土	プラネタリウム、古文書講読会
21	日	プラネタリウム
22	月	(休館日)
23	火	(勤労感謝の日・休館日)
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	プラネタリウム、石仏を調べる会、 土曜観察会「高麗山・湘南平の自然」
28	日	プラネタリウム 体験学習会「巣箱を作ろう」 地層観察会「活断層を見る」
29	月	(休館日)
30	火	(月末休館日)

* 11月のプラネタリウムは、「流れ星を見よう！」をテーマに投影します。

☆11,12月の行事 ☆☆☆☆☆☆

あなたも参加してみませんか

●星を見る会「秋の星雲・星団を見よう」

秋の星座の中に散りばめられた星雲や星団を使って観察します。

日時 11月19日(金) 17~19時

場所 博物館・科学教室

参加は自由です。当日、博物館科学教室にお集まり下さい。雨天・曇天の時も会は行います。

●体験学習シリーズ№69

「巣箱を作ろう」

シジュウカラ用の巣箱を作り、高麗山のスギ林にかけてみます。

日時 11月28日(日) 9~16時

場所 博物館・科学教室、高麗山

申し込み 往復ハガキで、11月20日までに、博物館までお申し込み下さい。申し込み多数の場合は、抽選で20名まで。

●体験学習シリーズ№70

「おかざりを作ろう」

お正月に家の玄関などにかざるオカザリ(一文カザリ、輪カザリなど)を作ります。

日時 12月19日(日)

9時30分~15時30分

場所 博物館・科学教室

申し込み 往復ハガキで、12月9日までに、博物館までお申し込み下さい。申し込み多数の場合は、抽選で50名まで。

●冬期特別展「野鳥生態写真展」

平塚周辺に生息する野鳥の生態写真約40点を展示します。

会期 12月1日(水)~12月26日(日)

会場 博物館・特別展示室

●展示解説書 好評発売中

博物館の常設展示の解説書「展示は語る」が発行され、館受付で発売中です。展示を各コーナーごとにやさしく解説したもので、平塚を知るために入門書にもなっています。

「展示は語る」 B5版 80ページ

価格500円



④

表尾根、秋たけなわ

10月13日(水) はれ

丹沢の植物調査を予定した今日は、すがすがしい好天に恵まれた。戸沢入口から水無川の林道に入ると、朝靄にぬれた路傍には秋の花が咲き乱れていた。ツリフネソウはもうしおれかかっているが、ヤマハシカ、ヒキオコシは今が盛りだ。マルハナバチが軽い羽音をたてて、小さな花のひとつひとつをこまめに訪ね歩いている。沢を横切った所で、実になりかかったアケボノソウを見つけた。咲き残った一輪を野帳にスケッチする。黒い星をちりばめた花弁は、いつ見ても独特の魅力をたたえている。

10時半、林道とわか

れ、鳥尾尾根の登りにかかった。時々、背後の大倉尾根をふり返りながら、スギの植林地の道を一步一步登って行く。道ばたにセンブリが何株か、白い花を開いていた。8月の台風のせいか、風で倒れたスギの木が目立つ。幹の途中で、ねじ切られるように折れている木は、風のすごさを物語っているようだ。

写真をとったり、必要な資料を探集したりしながらなので、行程はなかなかはかどらない。表尾根の鳥尾山の山頂についたのは、12時を少し回った頃だった。

ヤツビ崎から、三の塔、鳥尾山、新大日を経て塔の岳に続く尾根を表尾根と呼んでいる。丹沢登山のメインルートの一つだが、平日の今日は登山者の姿はまばらである。1000mの稜線はさすがに秋が早い。ブナの葉は黄葉が始まり、コミネカエデも赤く色づいていた。

行者岳の岩峰に立つと、水無川から吹き上ぐる風が快い。稜線の木から飛び立ったカケスがフワッ、フワッと風に乗り、札掛側の谷に下っていった。冬を里山で過ごすカケスは、今が移動の季節なのである。

尾根道は、リンドウとリュウノウギクが花盛りであった。ガレ場には、フジアザミが大きな花をつけている。さわると思



カケス

わず手をひっこめるほどの鋭いトゲを持ったフジアザミは、丹沢の秋の花の王者の貫録を示している。こうした植物を見つけると、写真をとり、一種類一株ずつ採集する。現在、神奈川県内の植物の分布を詳しく調べ、植物誌を作る仕事が県立博物館を中心に、多くの人の参加で進んでいる。今日はその調査の一環で丹沢へやってきたわけだ。分布の調査は、標本がないと、後で間違いを改めたりすることができない。そこで、一地区一点の標本を作り、後世の人たちに研究材料として残していくというわけである。もちろん丹沢は国定公園なので、採集には許可が必要で、私のザックにもその許可証がしまってある。

13時半、新大日山頂を通過。だんだん重くなる足をひきずりながら、14時半に塔の岳山頂に到着した。標高1491メートル。山頂は、いつ来ても気持がよい。空気のよく澄んだ今日は、西丹沢から富士山、箱根や天城の山まで見渡すことができた。

塔の岳から大倉尾根の長い下りにかかる。花立小草平、堀山と快調に歩いていくが、まだ先は長い。一日の疲れがたまつくると、林道の終点まで車を使えば、歩く距離を短かく、もっと能率的に調査ができるのではないかと、ふと思うことがある。しかし、と別の声が言う。車を使って楽をして山に入ろうとするのは、林道や観光道路を作つて結局は山の自然を破壊してしまうことを、心の中で許してしまうことになるのだと。そんなことを考えると、決つて私の胸に浮かぶ光景は、四国の石鎚山で見た、緑の尾根を切り裂いてどこまでも続くひとすじの白い林道である。山は傷ついている。私は、自分の胸をナイフで切られたような思いがして、涙がとまらなかった。その気持を、いつまでも忘れないために、今日も2本の足で歩き続けているのである。

(浜口・学芸員)



ハレーすい星みつかる

アメリカの二人の天文学者がハレーすい星をとらえた、というニュースが入りました。

ハレーすい星は有史以来、ほぼ76年周期で太陽に近づき、人々に恐れられたり、不吉な前兆と考えられたりした、大すい星です。前回の接近は1910年（明治43年）で、それからすでに、72年がすぎて再び近づいてきています。

近づいてきた、といつても地球からの距離は、約16億キロもの彼方のために大変暗く、今回の発見のために、バロマ山にある口径200インチ（約5m）のヘール望遠鏡に特殊天体カメラを用いて、かすかに光るすい星を確認したものです。私達が望遠鏡で見つけられるようになるのは、まだ当分先で、85年後半になってからでしょう。86年2月に太陽の近くを通りますが、肉眼で見られるのは4月頃、夜明け前の南の空に見えるそうです。

ところで、前回近づいた時のハレーすい星は、長い尾を持つ大すい星になって人々を驚かせました。東の地平線からすい星の頭がまだ上がらないのに、その尾は頭の上を西の地平線までのびていた、ということです。日本でも当時の新聞に大きく取り上げられており、人々はかなりの関心があったようです。

まわりにお年寄がおられる方は、当時の様子などを聞いてみてください。何かおもしろい話が聞けるかもしれません。

xxx

受入寄贈資料

10. 1 二宮層群産貝化石ブロック 大磯町
西小磯261 長岡萬吉 様
26 セグロウミヘビなど 二宮町山西1
94 西山喜徳郎 様
28 糸車、綿くり、糸紡など 平塚市片岡897 沼田秀男 様

御協力を深く感謝いたします。

いんふおめいしょん

information

平塚市近郊の博物館・美術館などで、次のような秋の特別展を開催しています。あなたも一度、お出かけになってみませんか。休館日、開館時間、入場料金等は、館によって異なりますので、事前に電話でお問い合わせの上、お出かけ下さい。

□横浜海洋科学博物館 「船の写真展」

11月8日～12月5日

横浜市中区山下町15番地
(マリンタワー3階)

☎ 045-641-4488

□神奈川県立金沢文庫「称名寺と浄土教資料」展

鎌倉時代に東国に流布した浄土教の諸形態及び武士と僧侶の浄土教信仰をさぐる。

10月1日～11月28日

京浜急行金沢文庫駅下車 称名寺境内

☎ 045-701-9069

□神奈川県立近代美術館 「イタリア美術の一世紀展」 <1880-1980>

11月3日～12月12日

鎌倉・鶴岡八幡宮境内

☎ 0467-22-5000

□根岸競馬記念公園（馬の博物館） 「サラブレッドのルーツをたづねて」

10月27日～11月14日

横浜市中区根岸台1-3

☎ 045-662-7581

□茅ヶ崎市文化資料館 「湘南地域の蝶」展

10月31日～11月21日

茅ヶ崎市中海岸2-2-18

☎ 0467-85-1733

□小田原市郷土文化館分館松永記念館
「風外道人遺墨展」

10月23日～11月14日

箱根登山鉄道・箱根板橋駅下車徒歩10分

☎ 0465-22-3635